

2022年6月1日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2022年6月1日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/data/gaikyo.html>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、持ち直しのペースが鈍化している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、増勢が一服している。輸出は、横ばい圏内で推移している。設備投資は、高めの水準にある。個人消費は、感染症によるサービス消費を中心とした下押し圧力が和らぐもとで、緩やかに持ち直している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

こうした中で、生産は、持ち直しの動きが一服している。雇用情勢をみると、労働需給は、持ち直しの動きがみられている。

【前回との比較】

項目	前回	今回
景気判断	持ち直しのペースが鈍化している。	持ち直しのペースが鈍化している。
需要項目	公共投資	増勢が一服している。
	輸出	横ばい圏内で推移している。
	設備投資	高めの水準にある。
	個人消費	感染症によるサービス消費を中心とした下押し圧力が和らぐもとで、緩やかに持ち直している。
	住宅投資	横ばい圏内の動きとなっている。
生産	持ち直しの動きが一服している。	持ち直しの動きが一服している。
雇用	労働需給は、持ち直しの動きがみられている。	労働需給は、持ち直しの動きがみられている。

2. 需要項目別動向

公共投資は、増勢が一服している。

輸出は、横ばい圏内で推移している。

設備投資は、高めの水準にある。

3月短観における2021年度の設備投資は、前年度を大幅に上回る見込み。2022年度の設備投資計画は2021年度を下回るものの、業績回復に伴う前向きな設備投資の拡がりから、例年と比べて高めの水準となっている。

個人消費は、感染症によるサービス消費を中心とした下押し圧力が和らぐもとで、緩やかに持ち直している。

食料・日用品や高額品の販売は引き続き堅調に推移している。行動制限の緩和に伴い人出が増加するもとで、衣料品販売に持ち直しの動きがみられるほか、これまで感染症の影響が強かった飲食業や旅行・観光関連業種も、緩やかに持ち直している。

一方、乗用車販売では供給制約による自動車減産の影響が続いている。

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

3. 生産

生産は、持ち直しの動きが一服している。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	減速している。
	電炉	増加している。
化学	高水準で推移している。	
セメント	横ばい圏内で推移している。	
住設機器	緩やかに増加している。	
電気機械	一部に供給制約の影響を受けつつも、高水準で推移している。	
電子部品	増加している。	
自動車	持ち直しの動きが一服している。	

4. 雇用

雇用情勢をみると、労働需給は、持ち直しの動きがみられている。

5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）の前年比は、2%台前半となっている。

6. 企業倒産

企業倒産をみると、落ち着いた動きとなっている。

7. 金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、前年を上回って推移している。

以 上